

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道497号 今宿道路	自:福岡県福岡市 至:福岡県糸島市	昭和45年度事業化 昭和47年度用地着 手 昭和47年度工事着 手	2,791 2,791	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約97% 事業進捗率:約87% (令和7年3月末時点) 上深江交差点～糸島市二丈福井 L=5.8km(一般部2/4) S58年度開通 真方交差点～東交差点 L=0.5km(一般部2/2) S63年度開通 波多江交差点～有田中央交差点 L=2.2km(一般部2/4) H4年度開通 福重JCT～東交差点 L=14.5km(自専部4/4) H10～H15年 度開通 東交差点～上深江交差点 L=3.0km(一般部2/2) H16年度開通 青果市場入口交差点～飯氏交差点 L=7.4km(一般部4/4) H18年度開通 飯氏交差点～波多江交差点 L=1.7km(一般部4/4) H25年度開通 波多江交差点～有田中央交差点 L=2.2km(一般部4/4) H26年度開通 有田中央交差点～真方交差点 L=3.0km(一般部2/2、4/4) H30年度 開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 二丈波呂地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 東地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続 き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道208号 有明海沿岸道路 (大牟田～大川)	自:福岡県大牟田市 至:福岡県大川市	昭和63年度事業化 平成2年度用地着手 平成12年度工事着 手	2,631 2,631	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約98% 事業進捗率:約84% (令和7年3月末時点) 大牟田IC～高田IC L=9.8km(自専部2/4) H19年度開通 柳川西IC～大川東IC L=2.4km(自専部2/4) H19年度開通 高田IC～大和南IC L=2.0km(自専部2/4) H20年度開通 三池港IC～大牟田IC L=1.9km(自専部2/4) H23年度開通 大和南IC～徳益IC L=3.2km(自専部2/4) H24年度開通 徳益IC～柳川西IC L=4.5km(自専部2/4) H29年度開通 大川東IC～大野島IC L=3.7km(自専部2/4) R2年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 大島地区用地買収 ・工事推進: 三池港IC橋ほか上部工 大島地区改良工 大島高架橋上下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道208号 大川佐賀道路	自:福岡県大川市 至:佐賀県佐賀市	平成13年度事業化 平成24年度用地着 手 平成27年度工事着 手	986 986	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約82% 事業進捗率:約54% (令和7年3月末時点) 大野島IC～諸富IC L=1.7km(自専部2/4) R4年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 川副地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 川副地区ほか改良工 佐賀JCT橋下部工 川副2号橋ほか上部工 川副地区ほか舗装工 川副地区ほか道路附属物工 諸富IC～(仮称)川副IC L=1.1km(自専部2/4) 令和8年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道3号 鳥栖久留米道路	自:佐賀県鳥栖市 至:福岡県久留米市	平成19年度事業化 平成21年度用地着手 平成23年度工事着手	387 387	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約97% 事業進捗率:約65% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 東合川地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 宮ノ陣地区改良工 水屋地区改良工 下弓削橋下部工 思案橋川橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 広川八女バイパス	自:福岡県八女郡広川町 至:福岡県八女市	令和5年度事業化 令和7年度用地着手	340 340	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率:約2% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 広川地区ほか用地買収着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道201号 八木山バイパス	自:福岡県糟屋郡篠栗町 至:福岡県飯塚市	平成31年度事業化 令和2年度工事着手	465 465	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率:約70% (令和7年3月末時点) 篠栗IC～筑穂IC L=5.7km(4/4) 令和6年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 津原地区改良工 弁分高架橋ほか下部工 福ヶ谷橋ほか上部工 筑穂IC～穂波東IC L=7.6km(4/4) 令和11年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道201号 香春拡幅	自:福岡県田川郡香春町 至:福岡県田川郡香春町	平成20年度事業化 平成24年度用地着手 平成28年度工事着手	101 101	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約91% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 呉地区改良工 新朝倉橋ほか上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道201号 仲哀拡幅	自:福岡県田川郡香春町 至:福岡県京都郡みやこ町	令和4年度事業化 令和6年度工事着手	100 100	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 約8% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 松田地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 松田地区改良工 新仲哀トンネル工着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道201号 みやこ行橋バイパス	自:福岡県京都郡みやこ町 至:福岡県行橋市吉国	令和7年度事業化	610 610	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 0% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道210号 浮羽バイパス	自:福岡県久留米市 至:福岡県うきは市	昭和48年度事業化 昭和52年度用地着手 昭和54年度工事着手	290 290	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約92% (令和7年3月末時点) S58年度～H19年度: 板町北交差点～田主丸中学校北交差点 L=0.4km(2/4) 開通 船越小学校北交差点～今川通交差点 L=8.3km(2/4) 開通 今川通交差点～百堂坂交差点 L=1.7km(2/2) 開通 H21年度～H25年度: 田主丸中学校北交差点～船越小学校北交差点 L=2.5km(2/4) 開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 豊城地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 高木地区改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道3号 黒崎バイパス	自:福岡県北九州市 至:福岡県北九州市	平成3年度事業化 平成5年度用地着手 平成10年度工事着手	945 945	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約97% (令和7年3月末時点) 黒崎北ランプ～陣原ランプ L=2.9km(2/4) H20年度開通 前田ランプ～皇后崎ランプ L=2.9km(4/4) H23年度開通 尾倉ランプ～前田ランプ L=0.9km(2/4) H24年度開通 春の町ランプ～前田ランプ L=1.5km(2/2)(4/4) R4年度開通 陣原オンランプ R4年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 黒崎地区改良工 黒崎西ランプ橋上部工 黒崎西ランプ橋床版工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 博多バイパス (下臼井～空港口)	自:福岡県福岡市 至:福岡県福岡市	令和4年度事業化 令和6年度用地着手 令和6年度工事着手	360 360	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 約3% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 空港口地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 空港口地区迂回路工 (福岡北九州高速道路公社施工) 空港口地区改良工着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道497号 伊万里道路	自:佐賀県伊万里市 至:佐賀県伊万里市	平成7年度事業化 平成22年度用地着手 平成28年度工事着手	429 429	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約50% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 脇田地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道497号 伊万里松浦道路	自:佐賀県伊万里市 至:長崎県松浦市	平成9年度事業化 平成19年度用地着手 平成20年度工事着手	712 712	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約68% 事業進捗率:約64% (令和7年3月末時点) 山代久原IC～今福IC L=5.5km(2/2) H26年度開通 今福IC～調川IC L=2.6km(2/2) H29年度開通 調川IC～松浦IC L=2.2km(2/2) H30年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 久原地区ほか用地買収 ・工事: 久原地区取得用地管理工事	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道203号 多久佐賀道路(Ⅰ期)	自:佐賀県多久市 至:佐賀県小城市	平成15年度事業化 令和6年度用地着手	280 280	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約4% 事業進捗率:約7% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 別府地区ほか用地買収	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 鳥栖拡幅	自:佐賀県鳥栖市 至:佐賀県鳥栖市	平成20年度事業化 平成25年度用地着手 平成29年度工事着手	126 126	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約86% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 酒井地区ほか改良工 姫方地区ほか舗装工 鳥栖市姫方町～鳥栖市酒井西町 L=2.4km(4/4) 令和8年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道34号 神埼佐賀拡幅	自:佐賀県神埼市 至:佐賀県佐賀市	平成4年度事業化 平成7年度用地着手 平成12年度工事着手	153 153	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約57% 事業進捗率:約87% (令和7年3月末時点) 上犬童交差点～堀立西交差点 L=0.8km(4/4) H17年度開通 堀立西交差点～下湊交差点 L=2.1km(4/4) H22年度開通 姉川地区 L=0.5km(2/4) H27年度橋架替完了	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 姉川地区用地買収 ・工事: 姉川地区取得用地管理工事	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道34号 武雄バイパス	自:佐賀県武雄市 至:佐賀県武雄市	昭和49年度事業化 昭和55年度用地着 手 昭和57年度工事着 手	250 250	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約96% 事業進捗率:約77% (令和7年3月末時点) 武雄市武雄町武雄～武雄市北方町大字大崎 L=4.1km(2/4) H元年度開通 武雄市武雄町武雄～武雄市武雄町武雄 L=0.8km(4/4) H12年度開通 武雄市北方町大字大崎～武雄市北方町大字大崎 L=1.4km(2/4) H29年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 志久地区用地買収 ・工事: 志久地区取得用地管理工事	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道202号 唐津バイパス	自:佐賀県唐津市 至:佐賀県唐津市	令和4年度事業化 令和5年度工事着手	60 60	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約9% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 唐津大橋下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道497号 松浦佐々道路	自:長崎県松浦市 至:長崎県北松浦郡佐々町	平成26年度事業化 平成27年度用地着手 平成28年度工事着手	1,130 1,130	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約95% 事業進捗率:約67% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 乱橋地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 乱橋地区ほか改良工 江迎4号橋ほか下部工 江迎2号トンネル工 松浦1号トンネルほかトンネル附属物工 松浦地区ほか舗装工 松浦地区ほか道路附属物工 松浦IC～平戸IC L=7.5km(2/2) 令和7年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道57号 森山拡幅	自:長崎県雲仙市 至:長崎県諫早市	昭和63年度事業化 平成8年度用地着手 平成11年度工事着手	649 649	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約91% (令和7年3月末時点) 尾崎交差点～長野町交差点 L=1.6km(4/4) H21年度開通 森山東IC～森山西IC L=3.3km(2/2) R5年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 田尻地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 尾崎高架橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道34号 大村拡幅	自:長崎県大村市 至:長崎県大村市	平成3年度事業化 平成9年度用地着手 平成11年度工事着手	147 147	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約99% (令和7年3月末時点) 市役所前交差点～大村高校前交差点 L=0.5km(4/4) H14年度開通 大村高校前交差点～玖島中学校入口交差点 L=0.5km(4/4) H20年度開通 水主町交差点～市役所前交差点 L=1.0km(4/4) H20年度開通 玖島中学校入口交差点～国立医療センター入口交差点 L=0.3km(4/4) H21年度開通 国立医療センター入口交差点～久原2丁目交差点 L=0.2km(4/4) H22年度開通 久原2丁目交差点～与崎交差点 L=0.7km(4/4) H23年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 杭出津地区舗装工	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。
国道34号 大村諫早拡幅	自:長崎県大村市 至:長崎県諫早市	平成30年度事業化 令和3年度用地着手 令和7年度工事着手	160 160	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約41% 事業進捗率:約11% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 中里地区ほか用地買収 ・工事推進: 中里地区ほか改良工着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道205号 針尾バイパス	自:長崎県佐世保市 至:長崎県佐世保市	平成19年度事業化 平成19年度用地着手 平成19年度工事着手	178 178	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約62% (令和7年3月末時点) 有福高架橋～小浦橋 L=1.7km(4/4) H22年度開通 小浦橋～江上交差点 L=0.7km(4/4) H25年度開通 江上交差点立体化 R元年度	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 塔崎地区改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道218号 矢部清和道路	自:熊本県上益城郡山都町 至:熊本県上益城郡山都町	令和4年度事業化 令和6年度用地着手	740 740	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約1% 事業進捗率:約1% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 城平地区ほか用地買収	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道218号 蘇陽五ヶ瀬道路	自:熊本県上益城郡山都町 至:宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町	令和2年度事業化 令和4年度用地着手 令和5年度工事着手	378 378	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約36% 事業進捗率:約14% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 塩原地区ほか用地買収 三ヶ所地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 滝上地区改良工 三ヶ所地区改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道3号 芦北出水道路	自:熊本県葦北郡芦北町 至:鹿児島県出水市	平成5年度事業化 平成11年度用地着手 平成20年度工事着手	1,923 1,923	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約81% (令和7年3月末時点) 芦北IC～津奈木IC L=7.7km(2/4) H27年度開通 津奈木IC～水俣IC 延長5.6km(2/4) H30年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 袋地区ほか改良工 関外地区ほか改良工 米之津川橋ほか下部工 境川橋上部工 六月田橋ほか上部工 古城第2橋ほか床版工 西前田川橋床版工 中尾山トンネル舗装工 中尾山トンネルほか設備工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 竹田阿蘇道路	自:大分県竹田市 至:熊本県阿蘇市	平成31年度事業化 令和3年度用地着手 令和4年度工事着手	769 769	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約30% 事業進捗率: 約14% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 小地野地区用地買収 会々地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 小地野地区改良工 上鹿口地区ほか改良工 竹田久住IC Eランプ橋下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 滝室坂道路	自:熊本県阿蘇市 至:熊本県阿蘇市	平成25年度事業化 平成29年度用地着手 平成30年度工事着手	661 661	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約88% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 坂梨地区ほか改良工 滝室坂トンネル舗装工 滝室坂トンネル設備工 滝室坂トンネル附属物工 坂梨地区道路附属物工 阿蘇市波野大字小地野～阿蘇市一の宮町坂梨 L=6.3km(2/2) 令和8年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道57号 大津道路	自:熊本県菊池郡大津町 至:熊本県菊池郡大津町	令和6年度事業化	340 340	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率:約1% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 大津熊本道路 (大津西～合志)	自:熊本県菊池郡大津町 至:熊本県合志市	令和4年度事業化 令和6年度用地着手 令和7年度工事着手	310 310	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約1% 事業進捗率:約3% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 幾久富地区ほか用地買収 ・工事推進: 幾久富地区改良工着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 大津熊本道路 (合志～熊本)	自:熊本県合志市 至:熊本県熊本市	令和2年度事業化 令和4年度用地着手 令和5年度工事着手	530 530	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約78% 事業進捗率:約27% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 野々島地区ほか用地買収 大鳥居町地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 野々島地区ほか改良工 大鳥居町地区改良工 上生川橋ほか上下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 熊本環状連絡道路	自:熊本県合志市 至:熊本県熊本市	令和7年度事業化	920 920	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 0% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道57号 熊本宇土道路	自:熊本県熊本市 至:熊本県宇土市	平成9年度事業化 平成13年度用地着手 平成18年度工事着手	404 404	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約37% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事: 城塚地区取得用地管理工事 海路口地区取得用地管理工事	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 宇土道路	自:熊本県宇土市 至:熊本県宇土市	平成21年度事業化 平成26年度用地着手 平成28年度工事着手	434 434	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約57% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 網津地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 長浜地区ほか改良工 割井川橋ほか下部工 上網田橋上部工 網津長浜トンネル工着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 宇土三角道路	自:熊本県宇土市 至:熊本県宇城市	令和3年度事業化 令和5年度用地着手	747 747	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約1% 事業進捗率:約1% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 三角地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道208号 荒尾道路	自:熊本県荒尾市 至:熊本県荒尾市	令和5年度事業化 令和7年度用地着手	230 230	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率:約3% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 大島地区ほか用地買収着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道3号 植木バイパス	自:熊本県熊本市 至:熊本県熊本市	平成11年度事業化 平成13年度用地着手 平成19年度工事着手	389 389	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約68% (令和7年3月末時点) 熊本市北区植木町大字鞍掛～鎧田 L=2.3km(2/4) H23年度開通 熊本西環状道路～国道3号 L=0.9km(2/4) R4年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 鎧田地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道212号 三光本耶馬溪道路	自:大分県中津市 至:大分県中津市	平成19年度事業化 平成21年度用地着手 平成22年度工事着手	711 711	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約83% (令和7年3月末時点) 中津IC～田口IC L=2.8km(2/2) H30年度開通 田口IC～青の洞門・羅漢寺IC L=5.3km(2/2) 令和5年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 跡田地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 宮ノ内地区ほか改良工 本耶馬溪IC橋ほか上下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道10号 高江拡幅	自:大分県大分市 至:大分県大分市	平成26年度事業化 平成28年度用地着手 平成31年度工事着手	125 125	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約74% 事業進捗率:約56% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 駕野地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 中判田地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道210号 横瀬拡幅	自:大分県大分市 至:大分県大分市	平成28年度事業化 平成30年度用地着手 令和2年度工事着手	81 81	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約81% 事業進捗率:約36% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 横瀬地区用地買収 ・工事推進: 横瀬地区改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
東九州自動車道 清武JCT～北郷	自:宮崎県宮崎市 至:宮崎県日南市	平成10年度事業化 平成17年度用地着手 平成17年度工事着手	1,622 1,622	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約97% (令和7年3月末時点) 清武JCT～清武南IC L=1.2km(2/4) H24年度開通 清武南IC～日南北郷IC L=17.8km(2/4) R4年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 工事用道路撤去工	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。
国道218号 五ヶ瀬高千穂道路	自:宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町 至:宮崎県西臼杵郡 高千穂町	平成30年度事業化 令和2年度用地着手 令和3年度工事着手	559 559	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約60% 事業進捗率:約25% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 塩市地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 押方地区改良工 新室野橋下部工 越次トンネル工着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道218号 高千穂雲海橋道路	自:宮崎県西臼杵郡 高千穂町 至:宮崎県西臼杵郡 日之影町	令和3年度事業化 令和5年度用地着手	160 160	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約11% 事業進捗率:約 4% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査設計: 調査設計 ・用地買収推進: 三田井地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道220号 日南・志布志道路	【日南区間】 自:宮崎県日南市 至:宮崎県日南市 【志布志区間】 自:鹿児島県志布志市 至:鹿児島県志布志市	平成28年度事業化 平成30年度用地着手 令和元年度工事着手	549 549	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約97% 事業進捗率:約69% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 平野地区用地買収 志布志地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 平野地区ほか改良工 大迫大道地区ほか改良工 中尾橋ほか下部工 日南油津大橋ほか上部工 内堀1号橋ほか上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道220号 油津・夏井道路	【油津区間】 自:宮崎県日南市 至:宮崎県日南市 【串間・夏井区間】 自:宮崎県串間市 至:鹿児島県志布志市	令和元年度事業化 令和3年度用地着手 令和4年度工事着手	771 771	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約40% 事業進捗率:約19% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 西方地区ほか用地買収 夏井地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 木代地区ほか改良工 板川内地区ほか改良工 串間IC橋ほか下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道220号 南郷奈留道路	自:宮崎県日南市 至:宮崎県串間市	令和6年度事業化	650 650	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率:約1% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道10号 都城道路(Ⅱ期)	自:宮崎県都城市 至:宮崎県都城市	平成19年度事業化 平成24年度用地着手 平成28年度工事着手	356 356	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約99% (令和7年3月末時点) 都城IC～乙房IC L=5.7km(2/4) 令和6年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 事業損失補償 ・工事推進: 工事用道路撤去工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道10号 新富バイパス	自:宮崎県児湯郡新富町 至:宮崎県宮崎市	昭和41年度事業化 昭和41年度用地着手 昭和41年度工事着手	195 195	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約91% (令和7年3月末時点) 新富町日置～新富町上富田 L=2.4km(2/4) S43年度開通 新富町三納代～新富町上富田 L=1.7km(4/4) H11年度開通 軍瀬交差点付近 L=0.6km(4/4) H19年度開通 田中地区 L=0.8km(4/4) H29年度開通 日向大橋地区 L=1.0km(4/4) H29年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 三納代地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道10号 住吉道路	自:宮崎県宮崎市 至:宮崎県宮崎市	令和5年度事業化 令和7年度用地着手	490 490	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率:約1% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 島之内地区用地買収着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 阿久根川内道路	自:鹿児島県阿久根市 至:鹿児島県薩摩川内市	平成27年度事業化 平成29年度用地着手 平成30年度工事着手	1,185 1,185	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約42% 事業進捗率:約19% (令和7年3月末時点)	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 阿久根地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 西日向迫地区ほか改良工 草道川橋ほか下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 鹿児島東西道路	自:鹿児島県鹿児島市 至:鹿児島県鹿児島市	平成13年度事業化 平成14年度用地着手 平成17年度工事着手	1,188 1,188	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約69% (令和7年3月末時点) 鹿児島IC～田上ICランプ L=0.4km(2/4) H21年度開通 鹿児島IC～田上ICランプ L=0.4km(4/4) H25年度開通 田上IC～建部IC L=1.8km(2/4) H25年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 事業損失補償 ・工事推進: 東西道路シールドトンネル工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道10号 白浜拡幅	自:鹿児島県始良市 至:鹿児島県鹿児島市	平成19年度事業化 平成22年度用地着手 平成25年度工事着手	150 150	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率:約62% (令和7年3月末時点) 大崎地区 L=0.3km(4/4) H27年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 白浜地区改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道10号 鹿児島北バイパス	自:鹿児島県鹿児島市 至:鹿児島県鹿児島市	昭和50年度事業化 昭和56年度用地着手 平成4年度工事着手	555 555	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約28% (令和7年3月末時点) 祇園之洲～浜町 L=0.9km(2/4) H5年度開通 浜町～小川町 L=0.3km(4/4) H11年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 花倉地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 事業損失補償 ・工事推進: 花倉地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道220号 古江バイパス	自:鹿児島県鹿屋市 至:鹿児島県垂水市	平成元年度事業化 平成4年度用地着手 平成13年度工事着手	200 200	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率:約97% (令和7年3月末時点) 花岡町交差点～まさかり交差点 L=3.9km(2/2) H19年度開通 古里町交差点～花岡町交差点 L=1.3km(2/2) H22年度開通	R7年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 古里地区ほか舗装工 鹿屋市白水町～鹿屋市古里町 L=2.3km(2/2) 令和7年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進する。